

第369回放送番組審議会

1 日 時 2016年10月18日(火)14時～15時30分

2 場 所 tvk 第1会議室

3 委員総数 8名 出席者8名

出席委員; 山田一廣委員長、布施勉副委員長、白石俊雄委員、林義亮委員、伊藤有壱委員、二宮務委員、五大路子委員、吉川知恵子委員
tvk;中村社長、押川取締役、熊谷コンテンツ局長、武富プロデューサー、玉村編成部長

4 議 題 (1)放送番組

資料:①10月のタイムテーブル

②10～11月の特番一覧表

(2)視聴合評

「かながわ旬菜ナビ あなたの知らないイネ科の世界」

2016年10月9日(日)午前9時～9時30分

(3)その他 報告事項

・視聴者対応

報告期間:2016年9月17日(土)～2016年10月14日(金)

・第368回(9月)放送番組審議会の議事報告

(「猫のひたいほどワイド」2016年11月8日放送VTR)

5 議事内容 2ページ以降に記載

6 審議期間の答申または改善意見に対してとった措置及びその年月日

7 審議機関の答申または意見の概要を公表した内容・方法及び年月日

(1) 2016年11月8日(火)「猫のひたいほどワイド」(12:00～13:30)の

「放送番組審議会からのお知らせ」コーナーで審議内容を司会者が報告

(2) 審議概要を当社インターネットホームページに掲載

玉村編成部長 五大先生が少し遅れるというご連絡をいただいておりますので、始めさせていただきます。山田先生、お願いします。あ、いらっしゃいました。

山田委員長 お水を一杯飲まなくてよろしいですか。それでは、始めさせていただきます。長雨が続きたり寒かったりしたんですが、今日はようやく秋らしい天気になりました。この一週間はこのような天気が続くようだとされておりまして。前日も、この席で横浜ベイスターズについて話をさせていただきました。クライマックスシリーズで巨人に勝って、広島と最終戦に持ち込みまして、一つ勝って最後は7対8ということで、非常に残念な結果に終わりましたが、これでよしとして、一生懸命戦ったんじゃないかと思っております。球団経営を含めて、来期が楽しみです。それでは第369回の番組審議委員会を始めさせていただきます。中村社長の方からお願いいたします。

中村社長 はい。中村でございます。こんにちは。今委員長からもお話のありましたベイスターズですが、前回ちょこっとお話させていただいたかもしれませんが、ペナントレースでは24日のジャイアンツ戦を急遽中継させていただきました。その前に、実は22日を予定していたんですが、それが雨で流れたものから。逆にいうと、今度三浦の引退試合が29日ということになりまして、我々もハマの番長の引退は是非やりたいと、また29日も緊急で中継を組みまして、引退セレモニーを含めて、全編を中継させていただきました。ということで、ペナントレースは終わりました。その後、おっしゃったようにジャイアンツを負かして広島まで行ったんですが、私ども、広島での第2戦10月13日は中継をさせていただいたんですが、こういう時代になっても意外にまだ皆さんわかっていらっしゃらないというのは失礼なんですけど、1日目と3日目、4日目がこっちでは地上波が一つも放送されず、衛星でもやらなかったんで、結構視聴者の皆様から、「なんでtvkでやらないんだ」と、抗議の電話も結構いただき

ました。そこでは視聴者の皆様には詳しくは言えませんでしたけれども、広島には4局ございまして、それぞれ別の会社ではあるんですけども、こちらのチャンネルで言う4, 5, 6, 8と系列の各局です。そのうちの、2日目、私たちが中継できたのはテレビ朝日系の局でした。そこは言ってみればテレビ朝日も「こっちでtvkがそれを放送してもいいよ」ということをご快諾いただいたので、うちでももちろんお金はいるわけですけども、放送はできたんです。あとの3試合につきましては、こっちの親局がどうおっしゃったかはわかりませんが、そのオーケーがとれなかったという実情でございまして。やはりそうした事情が、もうこういう時代なので、結構皆様ご存知なのかなと思っていたら、意外にご存知じゃない方が多くて、だいぶ抗議電話が殺到したということです。結果としては委員長がおっしゃったように、ベイスターズも今年はよく頑張ったなということで、12月までには三浦の引退特番も構えたいなというふうに思います。そこら辺も、またご期待いただければと思います。本日もよろしくお願いいたします。

山田委員長 ありがとうございます。それでは本日の議題に沿って進めてまいりたいと思います。まず、放送番組について。お手元の10月のタイムテーブル、10月から11月の特番一覧表を参照していただきながら、事務局の方からお願いいたします。

玉村編成部長 はい。お手元の10月の番組表、特番一覧表の裏表、それから「秋の新番組・特別番組」という冊子をご覧ください。10月になりまして、私どもは改編時期になりますけれども、4月にお昼の番組を大きくリニューアルした関係で、大きな改編はございません。まずこの番組表のご説明ですが、昨年視聴合評をいただきました「吉田山田のオンガク開放区」のご案内を、表裏でさせていただきます。中面では、10月でいくつか新しく始まる番組、洋楽の

ビデオクリップを使った番組のリニューアル、共同制作で5分のミニ・アニメ番組のご案内と、「サタミンエイト」などは少しリニューアルしまして、出演者を少し替えたり、テコ入れを行っています。また秋のスポーツシーズンということで、「ラグビー中継」のご案内。今週から始まります、秋の高校野球のダイジェスト番組など。なでしこリーグ、女子サッカーの中継のご案内でございます。こちらの方の面は、いつもの「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」、「秦野たばこ祭」という特別番組。それから昨年始まりました「神奈川ビジネス Up To Date」のラインナップと、特別番組の一部を載せています。併せましてこちらの「秋の新番組・特別番組」の冊子についても、一部重複してございますけれども、そういった番組について詳しく掲載しております。「ラグビー中継」につきましては、昨年と同じ試合数を確保しました。高校サッカー、ラグビー、バレーボール。そういった神奈川県大会の決勝、準決勝の録画中継、生中継のご案内。それから先ほどお話しました、なでしこリーグの中継。これはこの日に地元のノジマステラ神奈川相模原が1部昇格と優勝が決まるか、という試合を中継しましたが、結果的にはこの日には決まりませんで、その次の週に優勝・昇格が決まったということがございました。私どもも、長くこのチームについては関心を持ってやらせていただいておりますので、今週日曜日に特別番組として、30分の「優勝おめでとう」というのを6時半から30分放送します。ここには書いてございませんけれども、そういった近々のところで。次頁以降は新しい番組のご案内です。もう一枚の「特別番組一覧」では、10月19日から3日間は、県議会予算委員会の録画中継。先ほど申しました「秋季関東地区高校野球ダイジェスト」。「5いっしょ3ちゃんねる」と申しまして、関東5局の合同制作で、持ち回りで制作しております。今回は栃木県の大会でございます。とちぎテレビさんの制作を、私どもで放送します。それから「ラグビー中継」がございま

して、「箱根町長選挙開票速報」を、1分間だけですが、10月30日に放送します。春先にもご案内しました「川崎競馬中継」が11月1日から2日、3日と、これはサブチャンネルでの放送です。特に3日のお休みの日は朝9時から夜6時までという長丁場でサブチャンネルでの放送です。11月に入りましたところでは、9日が高校サッカー準決勝。等々力競技場です。13日はニッパツ三ツ沢での決勝戦生中継。13日は同じく高校バレーで、これは前日の決勝戦男女の録画中継になります。20日は高校ラグビーの生中継。これもニッパツ三ツ沢球技場です。それから競艇につきましては、長崎で行われる競艇の22, 26, 27の3回が予定されていますが、未決定です。簡単ですが、以上です。

山田委員長 はい、ありがとうございました。ただいま10月から11月にかけての番組について説明がありましたが、これについて何かご意見、あるいはご質問等がございましたら。先ほど、中村社長からお話がありました三浦大輔の壮行、最後の試合ですけど、あれは30分の番組として最後のだけ独立して再放送ということになりますか。

中村社長 この間のセレモニーも一部入れますけれども、これは球団の方にはうちの方からお貸ししたり、入団したころの映像だとか、ご家族のインタビューだとか、そういうものも加えた、三浦大輔のホエールズからベイスターズへの軌跡みたいな格好でつくれないかなと。

山田委員長 是非、実現してほしいですね。30分番組で結構ですので。この間録画したんですが、途中で切れちゃいました。

中村社長 ああ、そうですか。あれも、うちがSV2になっちゃったので。セレモニーが。

山田委員長 その関係かもわかりませんが、途中まで見えていたんですが、だめになっちゃって。個人的にも楽しみにしていますので、よろしく願います。その他

はよろしいですか。ないようでしたら、2番目の視聴合評の方に移りたいと思います。

視 聴 合 評

山田委員長 ありがとうございます。それでは委員の皆さんからご意見を頂戴する前に、番組の制作を担当された熊谷局長、あるいは武富プロデューサーの方から、番組の概要についてコメントをいただければと。

武富プロデューサー プロデューサーの武富と申します。この番組は神奈川県のお食というものを中心に安心安全というものと、それからやはり食を中心とした情報というものを視聴者の方に届けることを意識して作っています。基本的には今年の新人、レポーターはこの4月から代わりまして1年目ですが、ものすごく食に興味がある方なので、一般視聴者の方々、それから各 JA の方々にも高評価をいただいております。

山田委員長 ありがとうございます。それでは委員の皆さんから意見を頂戴いたしますがやはり内容的に、そしてスポンサーという立場から二宮さんにトップバッターをお願いいたします。

二宮委員 この番組を取り上げていただいてありがとうございます。一視聴者として見ました。今もおっしゃったように、「安全、安心、情報」というのは前から聞いていましたけど、なかなか安全・安心という面は、情報としてちょっと。あとはオープニングで、「世界中にイネ科がたくさんある」と。エンディングにも「ディープな世界」という話だったんですが、出たのは、地域限定的なイネでありまして、もう少し体系的にイネを簡単に紹介してもいいかなと。ナレーションと見た感じのギャップを感じました。見た感じで3点申します。1つはマコモタケのところ、マコモタケは水田に作っていて、いつでも水田に戻せる」ということをおっしゃったんです。それは水田を作る上で、非常に重要なことなんです。と

いうのは、水田というのはただあるのではなく、下の土を固めて水を溜めたときに水が下にしみこんでいかにないように作っているんですね。かつ上流部で水を川から取水すると、水が全部の水田に、水系的に上から下までずーっと流れていくように、暗渠も、下にもパイプが通っておりまして、非常に精巧に作られているんです。だから一回水田を壊すと、水田って復元がすごく難しいんですよ、ということもあるので、単純に「水田に戻る」と言われても、多分それこそディープな部分は、一般の方には伝わっていないなど。水田の仕組みは非常に難しいんですね。そういうところを伝えていただけると、スポンサーとしてはありがたかったなと思います。2つ目は米農家の山口さん、はるみを用意した方ですが、非常にこれも残念なんです、あの方がうま味米のおいしさを説明できなかったですね。あそこは、きちっと事前に整理をして「はるみ」という米の、「こういう特徴があるんですよ」ということを、生産者としてきちっと説明していただけると、説得力があるなと思います。3つ目ですが、米というのはよく言うように「八十八手数がかかる」と昔から言いますが、こういうシリーズのこの時期であるというのは、多分毎年あると思うので、写真でも、静止画でも動画でも、事前に苗を作る段階からどこか定点観測で追って、こういう状況で作るんですよということがあっても、それでイネ科を知るという面ではより深い情報が出て来たのかなと思いました。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。やはり専門家らしい辛口の意見が出ました。それに対して反論とまでは行きませんが、ご意見があるかと思いますが、それは最後に他の方の質問と一緒にお願いできればと思いますので、よろしくお願ひします。続きまして林さん、お願いします。

林委員

都市近郊の農業、都市農家の方の新たな取り組みだとか、「こういうことをやっているんだ」という、これからの賭ける気持ちというのは、一定の成果が出

ていたと思うんですが。敢えて何点か注文だけを言わせていただきたいと思います。一つは、二宮さんもおっしゃいましたが、「湘南そだち」のキヌヒカリとはるみという。それぞれどんな米だというのが本当に簡単に一言で言うと「おいしいですよ」ということと、豊田店のご主人ですか、支配人ですかね、キヌヒカリのおいしさについて一言二言話していましたが、やはりちょっと話されただけではわからないので、もう少しこのお米はこういうお米で、どういう経緯で開発してできたんだということを、農業番組ですから、もう少し詳しく教えてほしかったなということが、まず一つ。それからレモングラスとお米とマコモタケの3つ出てきましたが、マコモタケのところは、とりわけ重要ではなかったかなと思っていて、農業委員か何かの方がお出になっていましたよね。耕作放棄地がたくさんあって水田が荒れていると。その再生の意味でマコモタケを普及させたいと話しておいででしたけど、これは「旬菜ナビ」ですから、そういった言葉であまり詳しく話すのはどうかな、という気がしなくもなかったですが、やはりそこは非常に重要な点なので、耕作放棄地の再生にマコモタケをどう活かしていくのか。それから西方さんは多分先生をやりながら実家は農家だったと思うんですけど、彼がなんでそういうことを買って出たのかとか、どういうふうにして広げていきたいと思っているのかとか、せっかく農業委員会の方が出て来ているんだから、ボソボソと話されるのではなくて、もう少しその辺のことを丁寧に話していただければな、という気がしました。やはり、それに賭けるということもあるんでしょうからね。だから、そこはもうちょっと詳しく話していただければと思いました。それから「ほっこり」と「桜カフェ」が出てきましたね、大磯の。地場の産品を紹介する地場のお店って、こういった番組ではよく紹介されますけれども、もう少し、店長がせっかく出て来たんですから、イネ科の紹介もいいんですけど、もう少し品揃えであるとか、話し

ていただきかったということと、桜カフェというのはそこにおいてある品を販売しているということで理解していいわけですか。後でいいんですけど、桜カフェでああいったものを飲んでいましたけど、どういう関係にあつて、何のために桜カフェがあそこにあるのかということについて、店員の方でも店長でもいいんですけど、お話いただければもうちょっと深みが増したのかな、という気がしました。私の方は以上です。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして五大さんお願いします。

五大委員

レポーターの方はとても好感が持てて、食べるのが好きなんだろうなというのが感じられて良かったと思います。主婦的な立場から言うと、「こんなふうに湘南でもお米を作っているのか」という発見があつて面白かったんですが、途中、炊き込みご飯とかきんぴらが出て来たんですけど、ちょっとレシピがあるといいかな、と個人的に思いました。全体的に、この神奈川県でああいうふうに農業をされていることが、どんどん忘れ去られていく中で、こういう取り上げ方はとてもいいなと思いました。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして白石さんお願いします。

白石委員

私はこの番組は楽しい番組で、なかなかいい番組だなと。今回も浅く広くという形で、その意味ではいい番組で、楽しい番組だと思っております。イネは私も4年ぐらい前に1反4千ぐらい作ったんですよね、私自身で。なぜ作ったかというと、うちの町内で息子が勤めていて両親が田んぼをできないということで、「どうだやってみないか」という形でやらせていただいたんですが、3年やりましたが、楽しかったですよ。ただ JA の実態はやらないんですよね、米作りを。やれる人にやらせて、自分は野菜をやっているんですね。そういうことで神奈川の戸塚、俣野町あたりに田んぼの休地になっていますね。やればおいしい米が採れるんですけど、やる人がいないということですね。今回

の米作りはコンバインでやっていますが、農家はコンバインなんか買えないんですよ。買ったとしても1反歩はきちっとした区分けをされていますから、コンバインで入るところまで整理して、1反歩は今40分だそうです。コンバインで刈って上がるまで。だから早いんですよ。1反歩、2反歩の田んぼでは使い切れない。従って JA なんかはレンタルで貸すんでね。お金は若干とられますけど。レンタルは使いたいときが集中されるので、なかなかうまくいかないんですけど。そういうことが面倒くさいんで、自分でコンバインを持つところまではいかないんですが。ここの取材のところは自前なのか、JA から借りたかわからないですが、新しい機械でしたね。だから相当お金がかかっていますね。そういうことを思いながら見ていました。でも、とれたての米はおいしいと思いますよ。私ですらおいしかったんですから。私が作った米でも、混ぜないからおいしいんです。やはりああいうところのご飯、おにぎりはおいしいんだろうなと思った次第です。これからの米作りは、二宮さんのところの専門でしょうけど、大変だなと思った次第です。それからマコモタケとレモングラス、これを私は、初めて知りました。ハーブは別として、マコモタケは食べてみたいなと思いました。是非簡単だから、空いているところに植えてみようかなと思った次第です。だんらん豊田店もなかなかおいしそうで、是非行ってみたいなと思ったところです。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。白石さんの意見の中にも、若干質問めいたことが出てきましたが、それも後ほどお願いできればと思います。レンタルの面や何かなど。では、続きまして吉川さんお願いします。

吉川委員

私も見終わった後で、この番組の性格がどういことかなということで、ホームページを拝見させていただいて、JA グループ神奈川の広報番組で、「県内の農産物、農業活動などの話題をキャッチする番組」だということが書いてあ

りましたが、ちょっとその点からすると、本来アピールすべきは、県内産の農産物のイメージアップで、知名度を上げて購買拡大につなげるとか。あるいは農業従事者の方の応援というか、ご紹介をして、さらに農業従事者の方に引き続き頑張ってもらいたい。このあたりに本来の狙いがあるんじゃないかなと思ったんですが、それを考えると、もうちょっと掘ってほしかったなとか。そこら辺のスポットの当て方が、不十分だったのではないかという印象を受けました。具体的には番組タイトルに、どなたかもおっしゃっていましたが、「あなたの知らないイネ科の世界」というわりには、バラバラと米、レモングラス、マコモタケが紹介されていて、統一感がなかった。ではイネ科といったときに、風媒花であるとか、中空の茎を持つとか、そういうちょっとイネ科の特徴みたいなことに触れて、中には今回は紹介しないけど、こんな変わったイネ科の植物もあるんだよ、でもそういう中で食用類は何種類ぐらいあって、こんな風でという、そういうイネ科を科学するみたいな紹介から入っていくのであれば、あるいはこの番組タイトルに合う、「あなたの知らないイネ科の世界」にふさわしい内容だったと思います。ただ今回、私個人としては、新米の季節なので、敢えてレモングラスだのなんだのということではなくて、もっと米だけに焦点を当ててやっても、1本十分にイケたのではないかという気がしています。それは一つにはやはり、「湘南そだちのはるみ」が紹介されていましたが、やはり皆さんもおっしゃっていたように、もっと味の特徴について科学的に分析してほしい。他の米との違いだったり、開発秘話だったりとかもありましたけど。それからキヌヒカリとコシヒカリの掛け合わせだというのが出てきましたけど、今度番組の最後の方で、平塚の「だんらん豊田店」は、キヌヒカリを使ったお店が紹介されていた。であれば、両方フィーチャーするのであれば、やはりキヌヒカリはキヌヒカリの良さというのと、しっかり二つ出してほしかったし、「今回は

はるみで行くぞ」「プレゼントもはるみだ」と。「はるみをアピールするんだ」ということであれば、飲食店もはるみの米を出している店を当たっていただいて、徹底的にはるみを売り込むというような番組にしてもらった方がわかりやすかったんじゃないかなと。それから「県内一の米どころ平塚」という紹介がありました。そうであれば、やはりもうちょっとその農作業のこともフィーチャーしていただいて、県内での稲作のご苦勞であったり、あるいは他の地域に負けない農業という意味では、平塚としてこんなところを売りにしているんだとか。せっかく JA 神奈川さんの広報番組なんですから、そこら辺をもうちょっと掘っていただいてもよかったんじゃないかな。そういうスポットがぼけてしまうところ、まさにこの平塚のだんらん豊田店の取材でも、銀シャリ釜飯はまだしもですよ、まあキヌヒカリではありましたけど、なんで銀ダラの説明を店長にさせちゃうんだと。店長が言っちゃうのはしょうがないけど、そこはやはり番組としてはカットしなくちゃダメですよ。やはりこの番組は何を訴えるのかということ、もう1回腰を据えていただいて。たとえばJAの直販でどこだったら、今ならはるみのお米を、ここでなら買えちゃいますとか。インターネットであればそれを入れちゃうとか。JAの広報番組なので、思い切ったそういうこともできるはずですし、おいしいご飯の食べ方という意味では、炊き方、研ぎ方、そういうことについて、プロならではの教授があってもいいと思いますし。やはりそういう、作る、それをいかにおいしく食べる、それをどこで手に入れられる。そういうことを全部三拍子揃って、米ということでこだわった番組にしていたら、また違う味の番組になっていたんじゃないかなと、私は個人的に思いました。もし私に作らせてもらえるなら、そういう番組にしたかったなと思います。それからリポーターの伊藤さんは、とても癖がなくて、かわいくて好印象でした。今後も私は活躍を期待したいと思います。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして伊藤さんお願いします。

伊藤委員

日曜日の朝ということで、少しゆったりとした気持ちで、楽しく見ていく番組としてとても良かったなと思いました。やはりダイレクトに「農業」と断言しているわけではなくて、「旬菜ナビ」なので、限りなくコンシューマーに向けた視点というのを感じましたので。専門知識を掘っていくというよりは、やはりおいしいとか、知らなかったことが知られて、とても得した気になるとか、そういう刺激の仕方で作られているなと感じました。やはり大人として見ていると、もう少し情報としての深みは各ポイントにほしいと、そこは思いました。その中でも、たとえば今回はイネ科とか、ごはん、お米というのを、マコモタケもそうですが入れたときに、マコモタケもそうですが、「湘南そだち米」というブランドがあるということとかも、知ったこと自体は、実はすごくうれしいわけですよ。それを番組の中にテロップですらりっと流すだけではなくて、せっかくなのでそういうところだけテロップをちょっと筆書きみたいな感じで「湘南そだち米」というものがあるんですよ、とってもいいんですよ、みたいなことを番組内でいうにはテレビ的にいいのかなと。それによって興味に関してスイッチを入れるというところでは、そういう工夫ができるのかなと思います。進行のいっとちゃんは本当に元気な感じの方で、この人の明るいテンションで番組を引っ張って行っているのは、非常にいい意味で力を感じました。丈夫そうな感じですよ。すごく大事なことで。とはいいいながらも、ナビゲーターの佐野さんの声も、実は声の感じが非常に心地良くてですね、情報的に入ってくるんですが、存在として結構立たずにフワッとフェードしてしまうので、そこは番組としてできたときに、掛け合いになるような情報のアクセントを入れたりというのは、佐野さんのお仕事としてできるのかなと思っています。食べ物のアップがすごく多かったので。逆光、アップが非常に多かったので、食べ物は確かに印象に残ったん

ですが、もうちょっとだけカメラマンさんが工夫をして、撮り方のバリエーションを見せていただけると、また見る側もより楽しい豊かな気持ちになるかなというような、欲の部分ですけど。最後質問ですが、いっちゃん衣装は全部自前かどうか、後でお答えをいただけますか。以上です。

山田委員長

よろしいですか。では布施さんお願いいたします。

布施副委員長

どうのことを訴えようとしているのか、ちょっとわからなかった。お米というのを考えた場合に、非常に複雑なものを持っていますよね。世界の穀物、主食は米と麦ですけど、圧倒的に麦ですよ。お米の場合は水田で作っているのは日本ぐらいで、そんなに水田できないから。それで相当違う、いわゆる国際的に見れば、状況にあるわけです。日本人の食生活が変わって行って、今やお米だけを主食として食べる時代じゃなくなっているんで、米ってどういふふう理解していけばいいのかわからなくなってきたんです。米作りというのはあまり魅力的じゃなくなってきたから、そういう意味で、年寄りがやっていて、若い人が水田やろうという人がどんどん減っている。その中でお米を食べるといふ日本人の食生活、文化がどうなっていくかというのが、ものすごく大きなテーマなんです。そういう大きなテーマがあるということから見ると、なんかどこか抜けているんじゃないかと、私なんかは思っちゃいますね。いわゆる私たちにとって食生活の中心だった。あるいはひょっとすれば今後、もう一度考え直して米を食べていくという食生活を作っていくとだめなんじゃないか。そういう状況の中で、一つは文化的、社会科学的にそういうことをどう考えていくのか。もう一つは、今度は理科的な意味で、イネ科の世界をどうとらえなおして、どう農業に位置付けていくのかということは、大きな課題なので、そこら辺のことが一つもなかったというのは、私にとってはどこか抜けちゃってて。パクパクおいしいご飯を食べているだけだった、ということしか頭の中

に残らないということになっています。米の問題、食の問題は非常に深いものだから、特に米の問題は30分番組でそんなに深くはいかないけれど、踏み込むことができなくても、そこら辺のところをちょっと入れてみると、「あなたの知らないイネ科の世界」というテーマが、ものすごい大きなテーマで、これを今後、もうちょっと深いところまで推し進めて、2回、3回、4回とやっても尽きないぐらいの大きなテーマになる可能性があるんです。今日みたいな「おいしいな」っていうのは、最後はいいんですけど、テレビ局のテーマとしては、もうちょっと違う切り込み方が、少しはあっても良かったかなと。そう思って個人的には、この番組は私にとっては大変不満足で、面白くもなんともない。はっきり言ってそういう番組だった。ちょっと厳しいことを言って申し訳ないけど、そういうところが1個ないと、番組としてはだめだと思うんです。そういうところがあれば、そのプラスアルファでおいしかったり、それから様々な問題が付け加わっても、それはいいことで、テレビ番組としての完成度が高くなるんですけど。肝心のポイントがないと、「見たってしょうがないな」という感じになりやしませんか。私だったら忙しいからこの番組は、委員じゃなければ見ないです。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。後ほど十分に反論していただいて。それでは私の方からもお伝えします。30分の番組でいろいろなことが入っているんですが、やはり全体を通して羊頭狗肉の感がぬぐえないですね。今も布施さんがおっしゃっていましたが、「あなたの知らないイネ科の世界」。イネ科ということを取り上げるのであれば、もっとたくさんのものがあって、非常に重いテーマとか大きなテーマなんだと思います。このサブタイトルをたとえば「新米を食す」とか、そういうふうにして30分間新米で番組を作ることもできたのではないかなという感じがいたします。それと番組の大体半分ぐらいが稲刈りの映像がず

っと流れていたような気がしますので、あれはやはりもうちょっと短くしてもいいかなという感じがしました。それとはるみの制作者ですか、最初に出た農家の方がいらっしゃいましたね。あの方が「はるみは、こういうふうにしてできたんだ」と話していましたが、あの人の人物紹介、こういったものも必要だったんじゃないかなという気がいたしました。どうしてはるみを作るようになったのか、それから「はるみはおいしいですよ」という言葉の裏には、いろいろなものがあると思いますので、そういったものにもう一步踏み込んでやっていただきたかったな、というような感じがいたします。それともう一つ、進行役の伊藤さんですか、非常に明るく元気で。最近では農業女子という言葉が使われて田んぼに入って泥だらけになって田植えをすとか刈入れもすると。まさにそういう女性にぴったりの女性だったんですが、ただひとつ箸の持ち方が。他の方はどう思ったかどうかはわかりませんが、箸の持ち方に私はちょっと違和感を覚えました。もうちょっと上の方を持たなきゃいけないなど。そういうことがちょっと気になりました。以上です。今日はちょっと厳しい意見も出しましたが、他にどなたか言い忘れた、言い足りなかったことがありましたら。ないようでしたら、それでは武富プロデューサーの方からいろいろ「いや、そうじゃないんだ。こういうことなんだ」という反論、あるいは質問もありましたので、ここで順不同で結構でございますので、お話ししていただければと思います。

武富プロデューサー なかなか答えづらいところもあるんですが、いろんなご指摘は真摯に受け止めたいと思っています。レポーターの箸の持ち方については、それは我々の方も注意して、もうちょっとうまく。それは伝える側の人間として、ものをどう食べるのかということとはとても大切なことなので、細かく指導していきたいと思えます。それでやはり今回、この番組のテーマにもあるんですが、どこまで具体的な情報をその時間の中に入れていくかということが、いつも担当ディレクタ

一とかが考えていることだと思うんですが、今回についてはイネ科ということで、3つのものを紹介する中で、言えばやはり本来ベースである一番目の米とマコモタケ、その背景をもう少し具体的に。それからやはり生産者の方の背景を入れるべきだったのかなというふうに思います。ご指摘があったように、マコモタケの食物としての役割以外に、それが水田というものを維持する上でどれくらいの役目を持っているのかと。そういったところも確かに食だけではなく、環境に関してのものも入れるべきだったのかなと、それは改めて思いました。あとははるみとキヌヒカリは湘南の大きなブランドで、はるみというのはこれからどんどん PR していこうというところで言うと、やはり冷めてもおいしいところが特徴だと思うので、そういうところをもうちょっと加えていくべきだったと。おにぎりのおいしさは冷めてもおいしいんだというところを伝えていくべきだったのかな。料理というと、キヌヒカリは広まっているんですが、はるみはなかなか一般で使ってもらっているところが少ないので、そこでちょっと本来はるみで御膳を食べるところが、キヌヒカリがメインのエリアだったので、はるみを使っているところを見つけきれなかったという、そういう背景がありました。そこはやはり、我々の方も完成したものを食べる、もしくは番組のエンディングでどういったものを伝えるかということ、慎重にしていかなければいけないかな、というふうに思います。それと五大先生からご指摘のレシピについては、なるべく番組の中で紹介できなければ、ホームページへ誘導して、ホームページでそういったものをなるべく入れるようにしています。やはり情報番組といっているんで、物の値段であったり、売っている場所であったり、また食べ方についてはなるべくホームページと連動して、そういったものをお知らせしていこうと思っています。あとコンバインについては勉強不足で、確かに集中するところなので、コンバインがリースでやったり、エリアで買ったりして

いるところが多いみたいですが、あれは多分イセキのものじゃないかと思うんですが、むしろあれはリースが今盛んなんですか。

二宮委員 いや、リースはほとんどないんじゃないですか。自前じゃないかと思えますけど。私もよく知りませんが。

武富プロデューサー あと、衣装については基本的にこちらで用意しています。JA の番組のロゴを胸に打ったものを、冬場はトレーナーとかオーバーパンツとかそういったもので。夏場はポロシャツに番組の名前とtvkのロゴを入れたものを、基本的にはこちらの方で用意しています。

伊藤委員 スタイリストっていますか。

武富プロデューサー いないんです。基本的にはズボンと靴は自前なんですけど、上着に関しては基本番組が用意したものを、自分で持って。何枚か渡しているんで、自分で洗ってそれをまた着まわしてもらってやってもらっています。やはり全体的に今回、厳しいご指摘を受けているのは、やはり先ほども言いましたけど、情報の伝え方といいますか、どこまで情報を入れて、皆さんに興味を持ってもらうか。やはり JA の広報番組ということと、食の情報番組というところを、また改めてもう一度見直そうと思います。ただこの番組に関しては、こういったものばかりではなく、意外と面白ネタだとか沿線シリーズだとか、究極の食材を食べるとか、いろいろなパターンがありますので、できればまた他のいろいろなテーマでやっているものも、是非ご覧いただければと思います。

山田委員長 いろいろ丁寧にお答えいただきましたが、ご意見等ございましたら。一つお伺いしてよろしいですか。あれはもちろんロケに行っ、天候等もにらみながら撮影するわけですね。いつ頃の撮影だったんですか、平塚の田んぼは。刈入れの時期。

武富プロデューサー 平塚は、9月の1週目ぐらいだと思います。大体放送の3週間前にロケをやる

ことが多いんですけど。

山田委員長 せっかく神奈川県小平野地帯のいい風景を映しているのに、たとえばテロップじゃなくて結構で、静止文字でいいですから、「2016年9月何日、どこそこ」っていうのは入れられないんですか。入れると、なんかちょっと親しみが湧くような。一個人の視聴者としては、そういうのがあるといいな、という感じがしますが。「2016年9月何日の、午後何時ごろ」とか。場所は平塚のどのあたりだとか。そういうのがあると、なんとなく見ていると逆に説得力もあるような気がしますけど。文字が見つらい面もあるかと思えますけど。

武富プロデューサー 通常、我々の場合は、撮影した日時を入れることは少ないですね。1回でロケが終わることもあるんですが、混ぜてしまったり、場合によっては資料映像を入れる場合は、逆に「これは、このシーズンのものではない」と入れることが多いんですが。基本的には見ている方には、直近の映像として見ていただきたいという意識があるので。敢えて入れないことの方が多いような気がします。

山田委員長 はい。他にございませんか。

伊藤委員 エンディングに流れた音楽についてなんですが、ちょっとアナウンス、ナレーションとかぶって、歌詞その他、聞き取りにくくて、ちょっと印象に残りにくかったんですが、すごく歌詞がたくさん語っているので。あれはどういう経緯で決まったんですか。

武富プロデューサー この番組は今8年目なんですけど、音効さんが最初に決めた音楽を踏襲しているんですね。オープニングの音楽は変えているんですが、エンディングの音楽は、ずっとレポーターが変わっても何年も踏襲してきている背景があります。ミックスの段階でもう少し、音楽BGMを下げて、メインの音が聴きづらくなってしまうと本末転倒なので、そのところはもう一度注意して聞きたいとお

もいます。

伊藤委員 せっかく使うのであれば、たとえばオープニングと同じメロディラインとかにして、番組の印象を憶えてもらうとか、活かし方もあるし。先ほど言ったように、その時のナレーションを活かして、少し逆に聴かせるとか。わりとタイトルの音楽とかを活用する演出をするので。

武富プロデューサー 参考にさせていただきます。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら、3番のその他報告事項に移りたいと思います。それでは、まずは視聴者対応の方からお願いします。

玉村編成部長 お手元に「視聴者対応について」という紙がございます。今回9月17日から10月14日までの1か月間で頂戴した電子メールが6000通余り、問い合わせ電話が700件弱です。いくつか抜粋をして紹介しています。「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」「かながわ旬菜ナビ」「カナフル TV」「クルマでいこう！」「ハマナビ」それぞれの番組に対するご意見がございます。裏面、ベルマーレの番組に対するご意見。ジャンルで分かれていて「それ以外」ということですけれども、プロ野球中継、先ほど中村からお話しましたように、緊急編成をした部分に関するご意見と、「放送をなぜやらないのか」という意味でのご意見、そういったものがございました。10月13日木曜日がクライマックスシリーズ第2戦で、それを放送したんですが、12日の初戦、その日にたくさん「なぜやらないのか」「やらなければいけないのではないか」といったご意見が、メールというよりは電話が多くて、80件以上電話を頂戴しました。翌日は、サブチャンでの放送も含めて放送したので、「サブチャンでの見方はどうだ」とかいったことも含めて、「よくぞ放送してくれました」と、そういった意見もございました。そういったことのご紹介でした。

山田委員長 ありがとうございます。事務局から視聴者対応について説明がありました

が、これについてご意見ご質問等ございましたら。

林委員 ちよつといいですか。

山田委員長 はいどうぞ。

林委員 「Spirit ベルマーレTV」に、「毎回同じ内容だ」って来ているんですが、これはやはり、どういうところが同じでどうしたらいいかというのは、打ち返して聞いていらっしゃらないんですか。

玉村編成部長 たくさんメールを頂戴していますので、目は通しておりますが、いちいちこちらから返信はしていません。このベルマーレの番組に関しては、私の推測するところでは、基本的に番組の構成として、前週にやった試合の振り返り、選手のインタビュー、そういったところがメインになってまいりますので、「その繰り返しになっているじゃないか」という、そういったことではないかと推測しています。マリノスの番組やフロンターレの番組も同じ金曜日に放送しますので、こちらの番組に比べると、少し定番といいますか、番組の成り立ちも若干違うところがあって、特集もの的なものとか、そういったものはすこし少ないといった傾向はありますので、そういったところなのかなと思います。

林委員 フロンターレとマリノスは非常に層の厚いファンがいますので。ベルマーレについて、こういった意見を大切に、ベルマーレはちょっと後押しが必要だという気がしているので。こういう番組を持っていらっしゃるのは大変いいことだと思うんですが、さらに良くしていただければなと思っています。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら、前回の議事報告に移りたいと思います。

議 事 報 告

山田委員長 これで本日の議題はすべて終わりましたが、何か皆さんの方でお話したいことは、伊藤さんがいろいろまたご活躍のようですので、伊藤さんからこのチ

ラシについて。

伊藤委員

失礼します。お手元にチラシを配らせていただきました。10月31日から「馬車道まつり」。お声掛けをいただきまして、大ホール、千人入るところで短編アニメーション上映会をやることになりました。馬車道まつりさんのアートフェスタ内のイベントですので、入場無料です。こちらの私が作りました「ハーバーテイル」というプログラムと、審査員をしております2つのプログラム、「DigiCon6 ASIA」というアジア10か国からのそれぞれのコンテストを勝ち抜いた人たちのプログラム。そして「ハグ」という、これは横浜市の文化観光局が出資をしています横浜のプロモーション映像を作らせる。そうやって作らせたけど誰も知らないっていうものを見せる機会を作ろうと。同じことを言いこの後、そういったことを。完全に横浜の方にたくさん見ていただきたいということで、2時から7時半までやっております。受付でお名前等をいただければ、本当にどなたでも入れますので、お時間がありましたら。そして大事なところとしては、裏面に「5時半に休憩」というのが書いてありまして、これは一番大事なんですけど、ガス灯の点灯式で五大さんが務められるんですね。その時間はアニメーション上映会を止めて、ガス灯の点灯式を皆さんで外で見てというのができるような、そういうこともしておりますので、こういった場を借りてご報告をさせていただきました。

五大委員

この次が来れないかもしれないので、今日はチラシも何もないんですが。来年1月22日から29日までランドマークホールにて、「風の吹きぬける街 野毛坂ダウンタウンストーリー」を上演することになりました。この作品を私は1年以上前から、野毛の町に取材をして、一人の女性に出会いました。80代の女性ですが。彼女の言った言葉が私の心を動かしました。戦争で東京大空襲、横浜大空襲でさんざんな目に遭いながらも、野毛にたどり着き、生き抜

いてきた彼女に、私が最後に質問したときに、彼女が。「こんな時代がまた来たらどうしますか？」「私はまた生きてやる」。その言葉が私を突き抜けて、「生きてやるこの町で」を一つの言葉として今作っています。一生懸命今作っている最中なんです、11月16日に野毛の町の人たちと一緒に、私たちが終戦直後の格好をして昭和の歌を歌いながら闇市をパフォーマンスします。是非。そして牧内さんも急遽出ることになりました。是非みなさん。以上ご報告までです。よろしく願いいたします。

山田委員長

では、事務局の方から通達事項がありましたら。

玉村編成部長

五大先生のお話なんです、前回ご欠席になられたかと思いますが、皆様にお配りしていますので、改めましてご報告です。次回は11月15日火曜日夕方4時からの開催になります。恒例に従いまして今年の最後になりますので、懇親会をこの後いたしますので、皆様よろしく願いいたします。視聴合評につきましては「神奈川ビジネス UpTo Date」。昨年一度ご覧いただいていますけど、一年半ぶりということで是非ご覧いただきまして講評をお願いいたします。11月7日の分をご覧いただければと思います。ここに書いてございませんが、11月7日月曜日よる9時の回をご覧ください。この番組は再放送がございますので、月曜よる9時を見逃された場合は、次の土曜のよる11時をご覧ください。それを見逃された場合はtvkへご連絡ください。以上でございます。

山田委員長

他にございますか。ないようでしたら、今日はこれにて閉会とさせていただきます。ありがとうございました。